

平成30年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年4月5日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東
 コード番号 8886 URL http://www.woodfriends.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 嘉浩 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績（平成29年6月1日～平成30年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	22,676	12.6	816	26.0	727	56.3	442	56.1
29年5月期第3四半期	20,143	2.8	647	93.2	465	172.1	283	411.0

(注) 包括利益 30年5月期第3四半期 472百万円 (46.4%) 29年5月期第3四半期 322百万円 (266.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	303.77	—
29年5月期第3四半期	193.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第3四半期	24,192	5,688	22.2	3,684.77
29年5月期	19,412	5,328	26.0	3,476.14

(参考) 自己資本 30年5月期第3四半期 5,373百万円 29年5月期 5,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	90.00	90.00
30年5月期	—	0.00	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年5月期の連結業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,200	12.1	1,220	16.4	920	13.7	600	13.2	413.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期3Q	1,480,000株	29年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	30年5月期3Q	21,778株	29年5月期	28,978株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期3Q	1,455,822株	29年5月期3Q	1,465,593株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等について）

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いております。名古屋駅周辺の開発が進み、更なる経済活性化に期待が高まっております。
- ・愛知県の新設住宅着工戸数は、前年同時期と比べて増加基調が続いております。特に分譲戸建住宅市場におきましては、住宅ローンの低金利等に支えられた住宅取得環境の下、需要増への期待から着工数が堅調に推移しました。短期的には、このような状況が続くと予想するとともに、市場での競争も激しさを増すと考えております。

② 当社の取り組み

- ・当グループの主力事業である分譲住宅事業において、事業工期短縮とコストダウンを前期からの継続的な重要課題として、生産・販売プロセスの改善に取り組んでまいりました。
- ・将来の事業発展のため、集成材製造・プレカット加工等を行う岐阜工場の生産能力を拡張するための設備投資としてプレカット工場棟を新設し、稼働いたしました。また、木質建材の内製化を更に進めるため、住宅用木質パネルを製造する工場棟の建設に着手しました。この工場の稼働は平成30年6月を予定しております。なお、新設稼働したプレカット工場棟の設備投資に対して、公的補助金(岐阜県企業立地促進事業補助金)の交付が決定されたことにより、営業外収益として84百万円を計上しております。
- ・特別地方公共団体である名古屋港管理組合が公募していた「名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)」(愛知県弥富市)の指定管理者に当社が指定されました。平成19年から愛知県初のPFI事業として実施しております「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」(愛知県尾張旭市)のオペレーションノウハウを活用し、指定管理期間である平成30年度から4年間に亘り、「ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部」として管理運営を行います。

③ 当第3四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期実績	22,676百万円	816百万円	727百万円	442百万円
前年同期比	12.6%増	26.0%増	56.3%増	56.1%増

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売が主力。住宅建設資材の製造・販売も行う。

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	19,231百万円	820百万円	市場対応の結果、戸建分譲住宅の売上単価が低下したものの、生産効率と販売効率が向上したことにより、販売戸数が増加し利益率も改善。また、建設資材の外販量も増加した。
前年同期比	3.9%増	12.0%増	

b AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	1,315百万円	299百万円	ゴルフ場での設備投資により減価償却費が増加したものの、業績は概ね計画どおり進捗した。
前年同期比	1.2%増	9.2%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	1,597百万円	31百万円	自社開発したマンション1棟および木造アパート3棟を売却したことを主因として、売上高が大幅に増加し、黒字化した。
前年同期比	712.2%増	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	611百万円	94百万円	住宅事業用地として開発を進めていた案件を計画変更して売却したため、売上高・利益とも大幅に増加した。
前年同期比	180.3%増	244.9%増	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して4,780百万円増加し、24,192百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して4,420百万円増加し、18,504百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して359百万円増加し、5,688百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月12日付の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,208,148	3,938,323
完成工事未収入金	5,556	21,848
売掛金	344,241	269,838
販売用不動産	4,688,898	5,801,993
仕掛販売用不動産	5,323,007	7,416,080
未成工事支出金	1,287,082	2,158,277
商品及び製品	203,810	279,585
仕掛品	97,846	125,683
原材料	248,170	153,516
その他	507,586	900,574
流動資産合計	16,914,349	21,065,720
固定資産		
有形固定資産	2,061,929	2,714,111
無形固定資産	134,194	106,939
投資その他の資産	302,101	305,916
固定資産合計	2,498,225	3,126,967
資産合計	19,412,575	24,192,687
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,471,647	1,539,292
買掛金	365,521	422,241
1年内償還予定の社債	153,400	159,400
短期借入金	5,881,562	9,320,846
1年内返済予定の長期借入金	1,469,540	1,866,496
未払法人税等	148,146	146,350
賞与引当金	151,357	53,901
役員賞与引当金	32,000	—
完成工事補償引当金	142,922	113,915
その他	707,084	702,165
流動負債合計	10,523,182	14,324,609
固定負債		
社債	309,600	373,900
長期借入金	2,289,116	2,928,263
退職給付に係る負債	1,194	1,474
役員退職慰労引当金	138,100	144,961
資産除去債務	16,102	13,051
その他	807,008	718,331
固定負債合計	3,561,122	4,179,981
負債合計	14,084,304	18,504,590

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	280,619	284,956
利益剰余金	4,538,442	4,850,087
自己株式	△55,569	△41,762
株主資本合計	5,042,617	5,372,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,337	807
その他の包括利益累計額合計	1,337	807
非支配株主持分	284,315	314,882
純資産合計	5,328,270	5,688,097
負債純資産合計	19,412,575	24,192,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	20,143,224	22,676,868
売上原価	17,371,020	19,498,274
売上総利益	2,772,203	3,178,594
販売費及び一般管理費	2,124,600	2,362,376
営業利益	647,603	816,217
営業外収益		
受取利息	20	36
受取手数料	12,863	12,799
違約金収入	1,468	3,200
補助金収入	—	84,216
その他	18,809	20,733
営業外収益合計	33,161	120,985
営業外費用		
支払利息	168,892	176,364
資金調達費用	23,808	16,169
その他	22,480	16,773
営業外費用合計	215,180	209,307
経常利益	465,584	727,895
特別損失		
固定資産除却損	2,974	11,124
特別損失合計	2,974	11,124
税金等調整前四半期純利益	462,609	716,771
法人税等	141,423	243,966
四半期純利益	321,185	472,804
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,886	30,567
親会社株主に帰属する四半期純利益	283,299	442,237

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	321,185	472,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,310	△530
その他の包括利益合計	1,310	△530
四半期包括利益	322,495	472,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284,609	441,707
非支配株主に係る四半期包括利益	37,886	30,567

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	18,511,217	1,299,427	181,380	151,197	20,143,224	-	20,143,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,080	1,182	15,252	67,048	84,564	△84,564	-
計	18,512,298	1,300,610	196,633	218,246	20,227,788	△84,564	20,143,224
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	732,830	329,455	△17,568	27,358	1,072,077	△424,473	647,603

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△424,473千円には、セグメント間取引消去6,413千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△430,887千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	19,231,318	1,314,183	1,584,139	547,226	22,676,868	-	22,676,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,412	12,936	64,521	78,870	△78,870	-
計	19,231,318	1,315,595	1,597,076	611,748	22,755,738	△78,870	22,676,868
セグメント利益	820,659	299,191	31,849	94,351	1,246,051	△429,834	816,217

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△429,834千円には、セグメント間取引消去28,324千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△458,158千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。